

第2回 白須賀地区学校再編検討委員会 議事録

日 時 令和5年11月24日(金)
場 所 南部構造改善センター
参 加 者 40 名
委員 10 名（学識経験者 1 名、保護者代表 4 名、地域代表 3 名、校長 2 名）
事務局 4 名（教育次長、学校教育課長、学校教育課職員 2 名）
傍聴者 26 名

会議内容

第2回検討委員会に先立ち、委員と事務局で岡崎中学校、白須賀小中学校の視察を実施した。事務局より、業務支援を行う業者の紹介と支援内容の説明を行った。その後、事務局より本日の議事内容の説明があり、事務局への質問や委員同士の意見交換を行った。

1 「学校再編検討委員会の目的と検討事項、今後の進め方」について

- ・学校再編検討委員会の目的は、急激な少子化の進行を考慮し、白須賀地区の子どもたちにとって、よりよい教育環境を充実させていくという視点から、学校再編方針に沿って具体的な案について検討していくことである。
- ・令和3年度学校教育施設適正化検討委員会では、湖西市における望ましい教育環境について示すとともに、付加価値を持たせた小中一体型の学校や、通学距離を考慮した中学校のみの適正配置など、白須賀地区の地域の方と適正配置について議論を進めていくということを報告書に取りまとめた。令和4年度には、これからの小中学校についての意見交換会を実施。令和5年3月には、湖西市総合教育会議、意見交換会、子育て世代を対象にしたアンケートを実施。令和5年5月に白須賀地区のこれからの子どもたちの教育環境として、小学校は現状のままとし、中学校からは近隣の中学校に通うという案が適していると、湖西市立小中学校再編方針に取りまとめた。
- ・今回の学校再編検討委員会の検討事項は、①近隣のどの中学校にどのような形で通うのか、②スクールバスの運行、自転車通学など通学の方法、③実施時期の3点。
- ・学校再編検討委員会は、計6回で令和6年12月までに基本計画を策定する予定。第3回は施設整備の検討、通学方法の検討、小学校からの交流や事業スケジュールについての検討、そしてアンケート案について話し合う予定。また、第2回でご意見としていただいた小中一貫教育のありかたについても改めて確認する。第4回はアンケート結果の検討、基本計画案の検討、事業スケジュールについて話し合う予定。

【委員より】

事務局の進め方、新聞や広報こさいの記事、そして議会答弁などから、廃校ありきとしか思えない。これまでの会議録や報告書を見ても、地域住民の理解や合意形成という言葉が随所にあり、地域の声を聞きながら丁寧に議論を重ね、理解を

得ながら子どもたちのために最良の選択をしていく必要があると考える。一度立ち止まって、誰が決めたのかわからない方針を白紙に戻し、よりよい教育環境づくりをするにはどうするのか再検討する必要がある。そこで4点の提案をしたい。1つ目は、現方針を白紙に戻すこと。2つ目は、小規模校に対する工夫案、解消策、緩和策等の提示と、近隣の中学に通う場合の通学エリア、通学手段、道路の整備、街灯の設置等、具体案の提示、そして令和3年度の適正委員会が出されていた小中一体型や特別支援学級の充実といった案の練り直し。3つ目は、これらの案をもとに保護者、地域住民との話し合いを、お互いに納得できるまで実施した上で、これからの地域のあり方も含め、学校の存続の可否を問う。4つ目は、地域の実情を把握している白須賀地区自治会連合会の役員を当委員会の委員として承認してもらいたい。

【事務局より】

この検討委員会は再編方針に基づき前に進めていく場で、白須賀中学校の存続を決める場ではない。また委員を選出する際に、地元自治会へ「この内容で検討委員会を進めていく委員をどなたか選出していただませんか」というお願いをしたが、「話し合った結果、委員を選出できない」という回答があり、違う形で地元の方に委員を推薦していただいた。

【委員より】

前回の議事録を確認したが、話されたことが議事録に載っておらず、委員の言葉に対しての回答もない。意見交換会ではないので、それに対しての結論を出して前に進めていかないと、次の議論に移る判断ができない。前回、まずは体験してみても本当にそれがよい方法なのかどうかを判断するという提案をしたが、回答も、議事録への記載もない。先週個別に「白須賀に宅地を増やせないか」と相談をしたが、都市計画課の回答は「津波想定地域はもう開発はしない」だった。ハザードマップでわかるように、白須賀地区も該当するが、新居地区も半分以上が想定区域。白須賀を廃校にするのではなく、新居の学区を鷺津と白須賀に分ければいいと思う。これらのことから、まず方針は白紙とし、湖西市全体の将来を見据えてもう1回議論してほしい。

【委員より】

私も白紙からお願いしたいが、検討委員会で話し合う議題についてまず疑問がある。まだ廃校も決定していないのに、近隣のどの中学に通うのかや、スクールバス、自転車などの通学方法などについて話し合うことはできないと思う。

【委員より】

様々なWEBの意見、アンケート、保護者の意見等から、方針決定までの進め方が雑だという印象を非常に受けた。まず、委員構成について質問したい。このような会議の場合は女性や公募の方を入れたりするが、そうしていない理由をお

伺いたい。次に、令和 3 年 3 月に公表された「湖西市公共施設再配置個別計画」の中には、白須賀小学校地区は幼稚園、小学校、中学校が一貫校とし、そこに周辺の複合施設や南部のセンターなどをうまく複合化させるモデル案が記載されていた。そこの整合がどうなっているのか伺いたい。最後に、自治会が実施したアンケートに対して、どのような対応を考えているのか伺いたい。白紙という決断を下してほしいというよりも、当委員会を 1 回休止か廃止し、特に小学校、幼稚園、保育園の保護者へ、もう少し具体的な不安を解消する対策案を練り上げた上で丁寧な説明をし、皆さまが理解した上でアンケートを取るというようなことをもう 1 回やり直す。その上で方針が決まればまた委員会を作って具体化していけばよいと思う。

<質問①>岡崎中学校、白須賀小学校、白須賀中学校の視察の目的、意図は何だったのか。

<回答①>視察の目的は、現在の白須賀小学校及び白須賀中学校と、近隣の中学校として岡崎中学校を見ていただき、率直な感想をいただくことが目的。

【委員より】

今の回答と本日の議題がマッチしているとは考えづらい。

【委員より】

前回提示いただいた資料の意見の中には、“アンケートを 2 回行うという説明を受けていたが 1 回のアンケートで方向性が決まってしまう。まだよくわからないから 1 回目は答えていない”という意見もあった。また、前回のアンケート結果の解釈が強引な印象を受ける。回答の「小学校から大規模校へ通う」と「小学校は現状のまま、中学校からは近隣の中学校に通う」を足して 6 割弱いまずという表現だと、個別の回答をみたときに実際は「小中一体型の学校にしてい」が最も多いことから不信感を抱く人も結構いたと聞き、私自身もそのような印象を受けた。そのため、判断できる材料を提示し、保護者や PTA の方への説明をもう少し丁寧に行った上でアンケートを取り、その後委員会を復活させる方がよいのではないか。

【事務局より】

実施予定のアンケートは、前回と全く同じではなく、具体的な案を示した上でアンケートを実施する予定。保護者の皆さんから、再編後の通学方法などについて様々な不安や意見を頂いており、スクールバスの案など具体案を提示し、アンケートを回答する際の判断材料としてもらいたいと考えている。そうしたアンケートに提示する具体案について、本日議論していただきたいと考えていた。

<質問②>事前に資料が届いたが、どういった意図で当該資料を送付したのか。

<回答②>前回、小規模校とするデメリットをメリットに変換できないかななどのご意見もいただき、小規模校の特徴を活かすためにはどんなことが可能なのか、学校を残す方法として可能なことはないかななどの例として、事前に資料を送付した。1 つ

目は通学区域に関する規則に関する資料、2つ目は湖西市ぐらゐの規模の他市町でも導入例がある小規模特認校制度に関する資料、3つ目は小中一貫教育に関する資料。

【委員より】

事務局の話は理解できたが、廃校ありきで進めようとしている点が問題。まずは現方針を白紙にするか、しないか、そこからだと思う。

【委員より】

正直な感想としては、学校を残してほしい。白須賀地区の環境が非常に好きで引っ越してきて、幼稚園がなくなり中学校もなくなると悲しい。

【委員より】

視察の際に白須賀中学校でクラスを2つに分けて授業参観をしており、非常に良い印象だった。せつかくの小規模校なら残さないと、という気持ちも強い。

【委員より】

アンケートではすべての選択肢をフラットにして欲しい。中学校から近隣の中学校に通うというのも1つの選択肢だが、白須賀中学校を残し、ほかの学区からも自由に転学できるという選択肢も増やしてはどうか。当然、小中一貫校という選択肢もあると思う。それらの選択肢をフラットにし、当委員会で明確にした上で、アンケートを実施すればよいと思う。それでも「中学校を廃校し、他の区域の中学校に行きたい」という意見が多ければ、それは受け入れればよいと思う。

【委員より】

視察で白須賀小学校と白須賀中学校の授業をみたが、意欲的に発表できていること、発表の時間が十分に取られていることから、よい経験ができると思った。ただ人数が半分や1/3になったとき、これが本当に最適な決断だと言えるかは自信がない。白須賀地区に住む人を増やしてほしいが、それが叶わなければ近隣の中学に行くという選択も必要だと思っている。その点をもっと議論したい。

【委員より】

子どものために考えることなので、事務局と自治会で相互理解できないことではないと思う。このまま委員会を進めると地域分裂する火種となってしまう気がする。先ほどの意見のように選択項目を増やして、再編の基本方針について尋ねるようなアンケートを実施した方がよいと考える。また、地域の意見交換会や保護者への説明会は複数日程を用意し、かつ土日や昼間、夜間の組み合わせとするなど、地域の方が出席しやすい環境で情報提供した後に意見を聞くアンケートを行うなどの手法もあったと思う。

【委員より】

白須賀小学校に通っている子どもの中学校をどうしようかと悩んだ。浜松市の大きい学校に行くか、街中の鷲津中学校などを選べないかと考えていたが、本日

白須賀中学校を見たときに、うちの子は白須賀中学校に行かせたいと思った。私と同様に、よい環境でよい教育を行っていると感じる保護者はいると思う。おそらく、都心で育つ子どもたちには経験できない、白須賀の環境を求めている子どもたちもいるはずで、白須賀地区の良さや子どもにとっての教育の良さをやめてしまうのではなく、考える余地を残して欲しい。また親の立場としては、小中一貫や色々な工夫で成果を残している学校も見てみたいと思った。圧倒的に地域住民にも反対の空気があり、もう少し残す努力を検討して欲しい。

【委員長より】

1 点目に問題提起のあった議事録の取り方については、今回からは逐語録でしっかり議事録を残す。2 点目にアンケートのあり方として、今後は、委員の意見を伺ったうえで作成する。3 点目に現在の白須賀小学校と白須賀中学校で交流できる環境をなくす案になる可能性もあるので、小中一貫教育のあり方の検討もする。

【事務局より】

アンケートについて、事務局としても、年明け後 1～2 回、特に子育て世代を中心にしっかりと説明した上で、アンケートを取ろうと考えている。また、アンケートを取るに当たり、具体的な将来推計児童数等の数字もしっかりと説明しながら、我々教育委員会主導ではなく、まさに検討委員会でこのアンケートの項目を一緒に考えていただくことを考えている。冒頭に、第 3 回検討委員会は来年 5 月に開催という説明であったが、場合により途中でもう 1 回アンケートの項目などで皆さまに意見を出し合っていただき進めていければと考えている。

以上